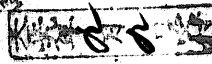


新正の挨拶  
 本会の発展に  
 共進する  
 こととす



神戸市本通壹丁目六二

青柿善一郎  
 鐵工部 神戸聯合會

日 報 二 第 二

謹賀新年

併謝平素之疎遠

尚祈将来之厚誼

一月一日

先づと先頭道大時程は  
 如く交差他物多し  
 有意義な仕事  
 こそ有難く  
 先づと先頭道大時程は  
 如く交差他物多し  
 有意義な仕事  
 こそ有難く

今回、柴田氏が聯合會主事を罷められ、私が其後を襲ふことになりま  
 した。柴田氏は非角のない圓滿な人格者、身體の強壯な活動家であり  
 ましたが、それに反し私は融通の利かない木強漢で且病弱な無性者で  
 すから到底その適任でないのですが、先輩同志熱心に従迎してくれ  
 たのこつは労働界の受難時代とも云ふべき今日こそ粉骨碎身すべき  
 だと思ひ就任することに致しました。併し乍ら主事の努力能く願  
 を既期に反し得ないのは勿論であります。只主事更迭に依つて多少  
 にも沈滞せる空氣を一新し、更に之を機會に全組會員諸君の發奮努  
 力で、幹部並に同志諸君の親切なる指導援助を得ることが出来れば莫  
 くば吾が神戸聯合會の發展を期し得やうと存じます。就任に當り右御  
 挨拶に代へ御願ひする次第です。

大正十一年十二月

神戸聯合會主事 青柿善一郎